

ニッペケンエース®G-IIグロス

すぐれた機能性、美しい光沢仕上がり、そして作業性も効率的です。

防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装 / 不燃材料
QM-9816	塗料塗装 / 準不燃材料
RM-9364	塗料塗装 / 難燃材料

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

■特長

1. カチオン形樹脂を使用していますので、強力な付着力を発揮。幅広い用途の塗り替えに最適です。
2. 樹脂の特性と優れた防かび剤の組み合わせにより防かび性に優れ、長期のかび汚染防止も可能です。
3. 光沢の美しい仕上がりが可能です。(つやの調整は可能です。)
4. はけ塗り作業に優れ、速く乾燥するので1日2回塗りができます。

■他の塗料との比較

		ケンエースG-IIグロス	合成樹脂調合ペイント
塗膜性能	耐候性	◎	△
	耐水性	◎	△
	耐アルカリ性	○	×
	防かび性	◎	×
	付着性	無機素材	◎
鉄部		◎	◎
作業性	旧塗膜への適応性	◎	△
	はけ塗りの作業性	○	◎
	乾燥性の早さ	○	×

◎：大変良好 ○：良好 △：やや良好 ×：不良

注) 建物の構造や地域、環境、方角、塗膜厚により、塗膜性能(耐久性、防かび性など)が十分に発揮されない場合があります。

注) 防かび効果は、かびの繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。

■用途

1. 建築内外表面の新設および塗り替え、コンクリート、モルタル、木部のほか、鉄部の上塗りとして光沢が要求される部位。
2. 防かび機能が必要とされる箇所。
3. コンクリート、鉄部などの素材が混在している箇所。
4. 店舗、デパートなど、改修補修工事の工期短縮を要求される現場。

■適用下地

新設適用下地	コンクリート、モルタル、木部、鉄部、硬質塩ビ	※鉄部など金属面には、下塗りとしてさび止め塗料をご使用ください。 ※新設木部(屋内)の場合には、下塗りに「Hi-CR下塗白(無鉛)」をご使用ください。
旧塗膜	AEP、SOP、AE、EP-G	

■容量・荷姿

塗料名	系統	容量	色相	つや
ニッペケンエースG-IIグロス	カチオン形弱溶剤アクリル樹脂系非水分散形塗料	16 kg 4 kg	各色	つや有り 7分つや有り 5分つや有り 3分つや有り

標準塗装仕様

ケンエースG-IIグロスの上に直接ケンエースG-IIを塗装すると、割れたり、縮んだりすることがありますので避けてください。

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	新設面:	1. エフロレッセンス、レイタンスなどの粉化物、よごれ、油分などを除去してください。 2. 一液浸透シーラー、ファイン浸透シーラーなど溶剤形シーラーをご使用ください。(ケンエースG-IIグロスを30%希釈し、シーラーの代用も可能です。)					
	塗り替え面:	1. 浮き膜を除去し、その周辺もケレンしてください。 2. 粉化物、よごれ、ごみ、かびなどを除去し、清掃してください。					
上塗り	ニッペケンエースG-IIグロス	2	0.12~0.14 <small>注)</small>	4時間以上	塗料用シンナーA	5~10	はけ
			0.13~0.15 <small>注)</small>			10~15	
						25~30	エアレスブレイ

* 上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。
* カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただけますようお願いいたします。
注) ・ニッペケンエースG-IIグロスJの塗付け量は、0.12kg/m²/回です。 ・使用量:被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ・塗付け量:被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量





施工上の注意事項 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください)

- 低温時など、開缶時に流動性のない場合があります。この場合は過度に希釈をせず、振動や攪拌により流動性が現れなくなるまで希釈してください。
- 鉄壁には直接塗装できません。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。
- つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやが出やすいため、面を切って通して塗装してください。
- 過剰希釈をせず本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りを確認してください。
- つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かはんしながらご使用ください。
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取り入れ口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願いします。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- 異なる色相を塗り重ねる場合(例:1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合)2回目の上塗りが1回目の上塗りを覆ってラインや帯などが変色(ブリードにより)する場合がありますのでご注意ください。
- 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 旧塗膜に発生した藻・カビは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなう必要があります。
- 内部塗り替えにおいて旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
- 既存塗膜はく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を傷め溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご確認ください。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透シーラー(新)、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラー、ファインパーフェクトシーラーをご使用ください。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させたから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗面を十分乾燥させてから塗装してください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製HI500/シリーズ;コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目隠し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑してください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において、巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペフィラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 材齢の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用ください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透シーラー(新)、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮膚の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などが常時置かれるような場所には跡がつくおそれがありますので塗装しないでください。
27. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
28. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
29. 塗装時および塗装後に密閉すると乾燥が遅れますので、換気を十分にしてください。
30. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
31. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
32. シーリング面の塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
33. 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
34. 薄めすぎは隠れ力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
35. 上塗りに冴えたいローラー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に冴えたい色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠れい出来ない場合があります。そのため、事前に試験施工塗り板などでご確認ください。
36. 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
37. 濃彩色や冴えたい原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所を使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や染みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
38. 濃彩色を塗装する際には、つやむらが目立ちやすくなるおそれがありますので、事前に試し塗りをしてお確認の上、ご使用ください。
39. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
40. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合は、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
41. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
42. 塗装方法により色相が多少変化する場合があるので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
43. 汚れ、さびなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
44. クロスの上の塗装は避けてください。
45. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するが、専用でご使用ください。
46. 可塑剤が多く含まれる塩ビ樹脂銅板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムバックシン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
47. 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
48. 塗料は内容物が均一になるようにかはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かはん機を用いて底の沈降物を十分にかはんしてご使用ください。
49. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
50. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
51. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項 (ニッペケンエースG-II グロス ホワイト)

横倒禁止

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 使用前に取扱説明書を手入すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 熱・高温の火花、裸火及び他の火源から遠ざけること。禁煙。 容器を密閉しておくこと。 容器を接地し、アースすること。 防塵用の電気機器・換気装置/照明機器を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気を帯びない措置を講ずること。 粉じん/塵/ガス/ミスト/霧気/スプレーを吸入しないこと。 取扱い後は、手洗いおよびうがいを行うこと。 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。 直接への放出を避けること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 本来の用途以外に使用しないこと。 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。 特別な処置が必要である。 口をすすぐこと。 漏出物を回収すること。 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ば(霧又はば)の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。 皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。 | <ol style="list-style-type: none"> 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 火災の場合:消火するために適切な手段を使用すること。 皮膚又は髪に付着した場合:直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管すること。 施設にて保管すること。 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 直射日光や水濡れは厳禁。 塗料等の圧の積み重ねは3段までとする。 内容物・容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時は、産業廃棄物として処理すること。容器、塗装具などは洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがあるため、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼すること。 容器は、つり上げないでください。やむを得ずつり上げる時には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意し、(傷重くなる)と取り手が外れ、落下事故の危険があります。 屋外で使用する場合は、使用する場所に隣接する家屋の換気口、空気取入れ口等に目隠しをするなどして、蒸気、ガス等が屋内に入らないようにしてください。 <p>* 上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
 <input type="checkbox"/> 詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
 <input type="checkbox"/> 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。</p> |
|---|--|

危険	危険有害性情報
   	<p>引火性液体及び蒸気/皮膚刺激/(気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ/(麻酔作用)眠気又はめまいのおそれ/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害/長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性</p>

日本ペイント株式会社

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 北海道支店 ☎011-370-3101 | 近畿支店 ☎06-6455-9608 |
| 東北支店 ☎022-232-6712 | 中国支店 ☎082-281-2180 |
| 関東支店 ☎03-5479-3614 | 四国支店 ☎0877-56-2346 |
| 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 | 九州支店 ☎092-751-9861 |
| 中部支店 ☎052-461-1960 | |

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- © Copyright 2022 NIPPON PAINT Co., LTD. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-Z174
TY220603T

2022年6月現在